

## ホクナリンテープ（気管支拡張剤）の取り扱いについて

病院から処方されるホクナリンテープは、皮膚からはがれて床に落ち、子どもが口にしてしまう危険もあることから、今後の取扱いは以下のように対応して下さい。

- ホクナリンテープを貼って登園する場合は、剥がれないように上から絆創膏（キャラクターでないもの）を貼ってください。
- 与薬指示書は必要ありませんが、お子様が貼っている事を担任へお知らせください。（早出利用の場合は連絡ノートへ記入）
- 日中に剥がれかかっている場合は、こちらで剥がし処分します。貼りかえは行いません。

**衛生管理の徹底**  
水筒の汚れが目立っています。  
簡単な洗浄方法をご紹介します。



蓋やゴムパッキンをはずし、ぬるま湯（500ml）にクエン酸（小さじ1）を溶かしたものにつけおき洗いをします。それでも取れない汚れは酸素系漂白剤で除菌もできます。

## 園内の事故やけがの対応について

子どもたちは突発的に動いたり、大人には予測できない行動をとったりしがちな為、幼児期の成長の過程でケガはつきものです。職員も十分な目配りを行っていますが、どうしても防げない事故やけががあります。

### 《けがの処置》

転んでできた擦り傷は、きれいな水で汚れを洗い落とします。消毒液や脱脂綿を使うと、かえって患部を痛めてしまうので使用しません。

けがの具合によっては念のためご連絡を差し上げる場合がございます。

### 《事故の処置》

頭を打ったり、病院へ行かなければならないけがの場合は、すぐに保護者へ連絡をさしあげます。病院での処置方法はご家族の判断が必要となる場合も同じく、ご連絡を差し上げます。

9月に入り、日中は暑い日もありますが、日が落ちるのがだんだんと早くなり秋を感じられるようになってきました。秋といえば、食欲、スポーツの秋ですよ。子どもたちも活動量が増え、食欲も増します。食べ物がおいしく感じられる季節なので、好き嫌いをなくせるチャンスでもあります。給食でも秋の味覚を取り入れ季節を感じられるようにしたいと思います。

## 非常食の備え

9月1日は防災の日です。ご家庭にある非常食や備蓄品をチェックするとともに、家族の状況に合わせ必要なものが足りているかを、確認しておきましょう。

食料の備蓄は・・・**家族の人数×3日分**

- 水
- アルファ米
- 日持ちするパン
- ビスケット
- チョコレート
- 缶詰
- インスタント食品など

災害時、子どもは環境の変化により精神的に不安定になるため、食べ慣れていない非常食だと心身を満たすことが難しいこともあります。食べ慣れたもの（好みのおやつなど）があると心を癒してくれるので、備えておくと良いでしょう。



先月より、以上児の白ご飯の提供を始めました。子ども達は、温かい炊き立てのご飯を食べ、全体的に食欲が増しているようです。これからも、美味しい給食を提供したいと思います！！

## 毎朝お出しをとっています！！

当園では、お出しの旨味を活かして塩分控えめの給食に力を注いでいます  
お味噌汁には「煮干し（いりこ）」  
すまし汁には、「昆布」と「かつお節」  
煮物には「干しいたけ」でお出しをとっています。



汁ものや煮物など多くの日本食に欠かせないのが出し汁です。  
普段何気なく口にして出している出し汁には、水に溶けだした旨味成分があり、さまざまな健康効果があるとされています。

- 昆布（グルタミン酸）…脳の活性化を助ける働きをする
- かつお節（イノシン酸）…細胞が活性化され、新陳代謝を促す作用がある
- 干しいたけ（グアニル酸）…筋肉の合成を促す作用がある

食経験の少ない子どもは、予測できない新しい食べ物を敬遠しがちです。常にお出しをベースにすることで、新しい料理への抵抗感が下がり、「お出しの風味や旨味」が効果を発揮します。それが好き嫌いの予防につながります。